

## 土地・建物の所有及び利用上の規制関連法

講師：丸山晴広

1 次の記述のうち、建築基準法上、正しいものはどれか。但し、都市計画区域及び準都市計画区域内に限る。

- (1) 袋字状の敷地は、2 m以上道路に接していれば、途中で2 m以下になっても良い。
- (2) 建築基準法第42条第2項の道路に接する敷地で、道路の反対側に川又はがけが有っても道路の中心から2 mの後退をすれば良い。
- (3) 道路幅員が5 mであっても、6 m以上の幅員がなければ建築できない場合がある。
- (4) 建築基準法第42条第1項第5号の道路の隅切りは、隅切り底辺が2 m有れば良い。

正解 (3)

2 次の記述のうち、都市計画法上、正しいものはどれか。

- (1) 用途地域は、全部で13種類の用途地域がある。
- (2) 「開発行為」とは、主として建築物の建築又は特定工作物の建設の用に供する目的で行なう土地の区画の変更をいう。
- (3) 市街化区域で規模が1500 m<sup>2</sup>の区画の変更は、許可は不要である。
- (4) 都市計画区域内で開発行為をしようとするものは、開発後でも都道府県知事の許可を受けなければならない。

正解 (1)